

## かながわみんなのSDGs表彰先

賞名	企業・団体名	取組タイトル
みんなのSDGs賞	株式会社日本コンピュータ コンサルタント	検索エンジン「ECOSIA」を使う
	合同会社Magical Grow	海岸フィールドワーク&「海ごみ」を考えるワークショップ
神奈川県中小企業 診断協会賞	株式会社ケイ・システム	産業廃棄物管理のDXにより廃棄したゴミの約90%をリサイクル実現
	株式会社MURONE	レモンを捨てることなく使い切る
	有限会社グリーンフーズあつみ	「食」を通じた地域社会への貢献とフードロス削減、環境保護推進
	株式会社 ボイス	化学物質を使用しない清掃作業
	株式会社富士防	建設業における女性活躍と技術の伝承

## 検索エンジン「ECOSIA」を使う（株式会社日本コンピュータコンサルタント）

### 取組の概要

日頃パソコンやスマホで使用している検索エンジンを「ECOSIA」（エコシア：<https://www.ecosia.org/>）に変更する取組みを社内展開しています。ECOSIAは収益源である広告収入の80%を非営利団体WWF（世界自然保護基金）に寄付しており、日常業務で検索を行うだけで、自然保護に寄与する活動になります

**Web検索45回 = 1本植樹**



### 取組を始めた動機・課題

ECOSIAで約45回検索するごとに1本の木が受けられ、これまでに1億本以上の植樹が実行されているとのことで、弊社はITサービス業で日常的にPCを利用したWeb検索を行うため業務利用頻度も高く、検索エンジンとしての性能や安全性も問題ないため採用。ただ、顧客先PC使用などで制限のある社員などには強制はできません

### 解決に向けた具体策と成果

ブラウザの設定で既定の検索エンジンをECOSIAに変える、もしくは拡張機能を使用すれば、アドレスバーを使った検索や既定ブラウザにECOSIAを設定できます。ECOSIAのスマホアプリもあり、活用可能です。まずは管理部門で運用し、取組みを社員に紹介することで、社員の自律的な自然保護への関心の和が広がります

該当するSDGs目標  
(3つまで)



## 海岸フィールドワーク&「海ごみ」を考えるワークショップ (合同会社Magical Grow)

### 取組の概要

「海のごみ」はどこから運ばれてくるのか、綺麗な砂浜の中はどのような「ごみ」が含まれているのか、海岸フィールドワークを通し、現場で学ぶ。更に、仕事と暮らしの2つの観点から「海ごみ」を考えるゲーム体験を行う。目で見えた事実から行動に繋げる体験型ワークショップで実践力を身につける。



### 取組を始めた動機・課題

海岸清掃活動は盛んに行われているが、「ごみ」を生み出さない社会を目指さなければ「海ごみ」は無くならない。一見綺麗に見える海岸にどのような「海ごみ」があるのか、採取体験をすることで深刻な状況を知る。自身の行動が環境にどのような影響を及ぼすか、ゲーム体験を通じて体得し、行動の変化に繋がりたい

### 解決に向けた具体策と成果

街から川、川から海に清掃活動を実施すると「ごみ」の特性が理解できる。地元NPO団体と協力し、フィールドワークを充実させ、参加者の知識、事実認識効果を上げた。参加した小学生も砂の中に含まれているマイクロプラスチックの量に驚き、自分が行動することで周りを巻き込みたいと理解を深めていた。

該当するSDGs目標

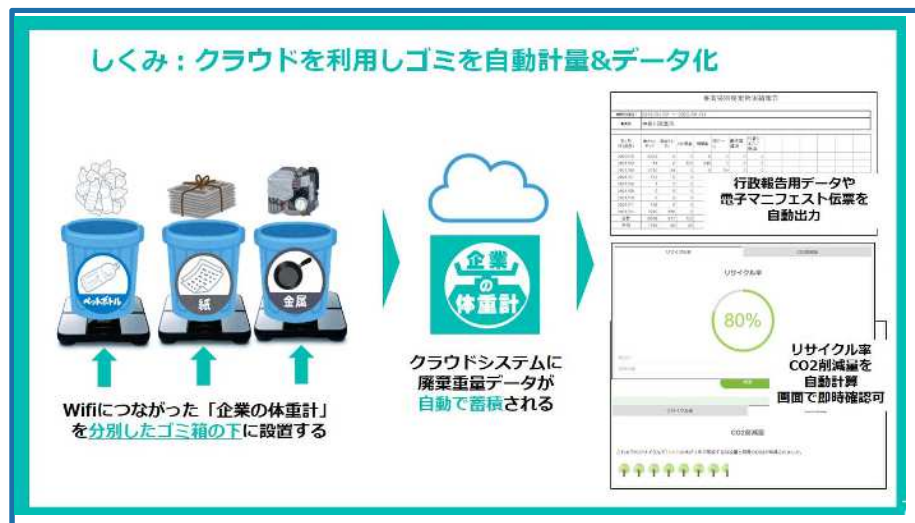


## 産業廃棄物管理のDXにより廃棄したゴミの約90%をリサイクル実現 (株式会社ケイ・システム)

### 取組の概要

ショッピングモール内のテナント会議で、「企業の体重計」で取得できた店舗ごとのゴミの排出量を報告、排出量削減の施策を検討・実施

- ・ **今までリサイクルをせずに廃棄していたゴミの数量の把握**が可能となり、改善策を実施し、廃棄したゴミの**約90%をリサイクル実現**



### 取組を始めた動機・課題

本社から遠方に位置する「ショッピングモール」のゴミ排出データを即時把握することを行いたかったため。

それまで紙でおこなっていた**Manifest伝票処理を全店舗で電子化し、ペーパーレス化**を実現するための意識改革（行動変容）が必要だった。

### 解決に向けた具体策と成果

廃棄物排出量の目標と実績を容易に把握できるようになり、現場担当者の廃棄物削減意識が高まった結果、行動変容のきっかけとなった。**利害関係者（金融機関等）へ、廃棄物削減・リサイクル促進といったSDGs経営を実施していることを、データとともに説明可能となった。**

該当するSDGs目標  
(3つまで)



## レモンを捨てることなく使い切る（株式会社MURONE）

### 取組の概要

- ・日本人が大切にしてきた「もったいない」精神。
- ・食品廃棄物のレモンの搾りかすなどを原材料にし、食器などに加工。
- ・プラスチック製食器の代替えによる脱プラに貢献する。

### 取組を始めた動機・課題

- ・弊社が運営する飲食店にて廃棄するレモンの絞りかすを何かに使えないかと日頃悩んでいたところ、「100%食品廃棄物から作る新素材」技術を保有するFabula様と出会い、弊社の持つ金属加工技術との合わせ技で開発を始めた。

### 解決に向けた具体策と成果

- ・食器に耐えうる強度を確保するのに試行錯誤を繰り返した。その結果、レモン以外にコーヒー抽出かすや、セロリ、酒かすなどの材料でも成功。
- ・今後は新たな材料にチャレンジするとともに、大型化や耐久性UPに向け誠意開発を進め、商品化につなげたい。



該当するSDGs目標  
(3つまで)



# 「食」を通じた地域社会への貢献とフードロス削減、環境保護推進 (有限会社グリーンフーズあつみ・おつけもの慶)

## 取組の概要

たった一坪のお店から始めたお店が口コミで評判となり、皆さまの支持をいただきながら直営店が増え事業が拡大していく中で見え始めた問題を解決することで、使い捨てプラ容器の使用を年間85%削減達成するとともに地産地消の推進や地域産業の活性、持続性のある共創社会の展開に結びついた。

## 取組を始めた動機・課題

コロナ課による巣ごもり需要の拡大により、販売商品の需要と供給増加に伴う使い捨て容器の使用や端材が増えたこと、また増産に伴う人材確保と育成、生産性を高めるための設備投資といった課題が見えたことがきっかけとなり、取組みを始めた。

### 人材確保と育成

国籍、性別、年齢を問わず積極的かつ平等な雇用対策を実施。安定雇用、食の安定供給で企業の持続性を高める。

- 当社従業員の国籍  
日本、韓国、中国、フィリピンなど

あごが落ちるほどおいしい中ムチ **おつけもの慶**

### 製造工場の拡張

安心・安全な食の安定供給を目指した工場設備の拡張。生産性を高めるための設備を地元異業種企業との協業で受注。

自動中ムチ充填装置 (現在進行中)

当社製造工場内の課題解決に向けたタカツクラフトによる工場視察風景

### 使用する容器の見直しと効率化 職員全員の目線で取組み

再生可能な植物由来原料由来素材へ転換  
どうもろこしやサトウキビなどを含む包材  
植物由来原料使用容器  
植物由来原料 (バイオマス) 利活用 P.P.袋

●削減した年間7800kg(85%)の内訳

1.白的平均容積：約400名 (当社全従業員数)  
A: プラ容器の使用量 (1p26g/一人当たり購入約2p5分算)  
26g x 2p x 400名 x 30日 x 12月 = 7,468kg  
B: シンクの使用量 (1p3g/一人当たり使用量約1p計算)  
3g x 400名 x 30日 x 12月 = 432kg  
A合計 7,468kg + B合計 432kg = 7,900kg  
→ 7,800kg 削減

お客様/購入し、繰り返し持ち帰り専用容器の使用

2021年までに、**85%削減**します。

使い捨てプラスチックを削減し、環境負荷を軽減し、持続可能な社会の実現に貢献します。

地産地消の推進  
神奈川県産品と提携

食品ロスゼロを目指す…  
大根やカブを使用するカリチキ、かかちムチを製造する際に端材として出る大根の葉、かぶの葉等をお弁当や総菜として二次活用を強化。さらに弁当や総菜類を冷凍販売することにより、保存が可能になり廃棄削減へ寄与。

## 解決に向けた具体策と成果

再生可能な植物由来原料を含む包材への切替えで環境負荷を軽減、食品ロスの軽減を目的とした端材活用による二次商品の開発、そして国籍や性別を問わない平等な雇用による人材確保と地元異業種企業との共創による工場設備機器の導入で生産性の向上へ寄与。

該当するSDGs目標  
(3つまで)



## 化学物質を使用しない清掃作業（株式会社 ボイス）

### 取組の概要

弊社は、日常清掃作業に洗剤を極力使用せず、自社で購入した生成装置によって作った、ナノバブルを充填させたアルカリ電解水を用い、「化学物質の排出量を減らす清掃業務」にとりくんでいます。



清掃前

清掃後

（洗剤無でここまで綺麗になります）

### 取組を始めた動機・課題

- ① すぎが不要なので、従業員の生産性向上、作業負担軽減。
- ② 洗剤を使用しないので、化学物質を排出しない管理の実現。従業員の安全・安心。
- ③ 自社生成して洗剤コスト削減。

### 解決に向けた具体策と成果

実例の紹介、使用方法（希釈方法等）の指導、メリットの教育を継続的に実施し、現在20L容器で年間1500缶使用しています。理論値ですが、弊社の基準的な20L洗剤換算で、200缶程度削減できました。

該当するSDGs目標  
（3つまで）



## 建設業における女性活躍と技術の伝承（株式会社 富士防）

### 取組の概要

女性活躍の幅を広げ、技術の伝承を強化する事で、お客さまの満足度の向上と、性別・年齢に関係なく、働き・学ぶ場所を創設し、働きがいも向上。

2019年 神奈川なでしこ現場環境パトロール認定。

2020年 神奈川なでしこ現場コンシェルジュ認定。

2021年 神奈川県初の防水職業訓練校認定。



### 取組を始めた動機・課題

建設業は、男性中心の社会であり、女性活躍の幅が狭いとの思い込みと、職人離れも含めた技術の伝承が難しい問題点がありました。女性の潜在能力を開花いただき、技術の伝承が出来る仕組みづくりを構築、そして実現する事は、大変な苦勞を要しました。

### 解決に向けた具体策と成果

女性目線でのパトロールやコンシェルジュ、工事の研究を具体的に進めた結果、お客さまの満足度は向上し、性別・年齢・関係なく、学ぶ場所と働く場所の創設につながった。その成果が認められ、神奈川なでしこブランドでは、神奈川県初の2年連続認定。県下初の防水職業訓練校として認定いただきました。

該当するSDGs目標  
(3つまで)

